

テックドクターによる助言（鹿児島県鹿児島市平川町～南九州市川辺町）

現在、異常気象通行規制区間に指定されている川辺地区において、通行規制区間解除に向けた調整を行っており、LPデータ及びハザードマップ等の災害危険箇所該当する法面について、現地調査を行ったことから12月12日の道路防災検討会に併せて、TEC-Doctorを派遣し、現地確認及び助言等を頂いた。

出席者：鹿児島大学 北村准教授、酒匂教授

● TEC-Doctorによる現地調査（令和6年12月12日）



【TEC-Doctorの見解】

【井村先生】

- ・ 崩積土砂（礫含む）が流下しても十分なポケットがあるため問題ない。
- ・ 不安定土砂地帯が古い滑り跡があるが、シダ類も繁茂しており動いた形跡がないことは確認できた。ここは集水地形であるが、擁壁＋柵＋背面ポケットを確保する対策がなされているので問題ない。
- ・ 数十年災害がないというのは、それだけ地形・地質の劣化（風化）や吹付のモルタルの経年劣化、周りで植生されている樹木の樹齢が進んでいるということ。今のところ安全性に問題はなくても、今後定期的な監視は必要と思われる。

【酒匂先生】

- ・ 不安定土砂地帯だが、近年動いた形跡がないことは確認できる。また、崩積土砂に対する十分なポケットがあることも承知した。
- ・ 今回調査しているLPデータやハザードマップに該当する箇所については、道路から離れている法面ということもあり、現道への影響はないということで問題はない。